

今週（6月15日から6月19日）の短期金融市場動向

●インターバンク市場

今週のインターバンク市場は、積み最終日にあたる週初15日は堅調な地合い。新積み期を迎えた16日以降は比較的落ち着いた展開となった。日銀当座預金残高は、15日年金定時払いや国債の発行、各種オペのスタートとエンド等の影響により、週中に大きめの変動が見られた。

無担保コールO/Nは、邦銀を中心に▲0.060～▲0.015%と、積み期を跨ぐことから比較的広いレンジでの出会いとなった。積み最終日にあたる15日は、週末で強含んだ地合いを引き継ぎ、積極的な調達が見られた。無担保コールO/N加重平均レートは▲0.018%と、積み期を通して最高となった。新積み期に入ると調達を控える先が多く見られ、▲0.05%台での推移と、比較的落ち着いた立ち上がりとなった。週末を跨ぐ金曜日の取引は、3日積みとなることから取り上がる先がみられ、▲0.050～▲0.035%と水準を上げての出会いが中心となった。ターム物に関しては、月内物では引き続き運用ニーズが強く、▲0.075～▲0.06%程度で出会いが散見された。

6月15～6月16日に開催された金融政策決定会合では、現状維持が決定された。

●レポ市場

今週のGC T/Nは、▲0.090～▲0.045%のレンジで推移した。新積み期に入ったものの、短国の入札ラッシュもあったか、週を通して売り物はしっかりの展開だった。週初15日のT/Nは▲0.08～▲0.05%の出会い、16日は投資家の資金調達姿勢が積極化したことから▲0.060～▲0.045%の出会いだった。17日は短国・国債買入オペが実施されたことから▲0.085～▲0.070%の出会いと、レートを下げる展開となり、18日も▲0.090～▲0.075%の出会いで推移した。19日は、短国の発行が重なっていたことで、▲0.070～▲0.055%と上昇して推移した。

SC個別銘柄では2y410～413、5y139～143、10y336～358、20y164～172、30y59～65、40y11～13など、カレント近辺の銘柄にビッドが多く見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、相次ぐ入札による需給悪化懸念などから、3M物は▲0.125～▲0.116%出会いと、やや軟調に推移した。一方で、オペ期待などから、6M物及び、1Y物は▲0.200%近辺で出合うなど、堅調な推移となった。

15日に実施された6M物の入札は、WI取引において▲0.170%での出会いが見られる中、平均落札利回▲0.1753%、按分落札利回▲0.1733%と無難な結果となった。結果発表後のセカンダリーマーケットでは、▲0.189～▲0.180%出会いと堅調に推移した。

17日に実施された短国買入オペは、前回と同額の3兆円でオファーされ、平均落札利回較差+0.006%、按分落札利回較差+0.003%と、無難な結果となった。

18日に実施された1Y物の入札は、WI取引において▲0.186～▲0.180%での出会いが見られる中、平均落札利回▲0.1961%、按分落札利回▲0.1931%と無難な結果となった。結果発表後のセカンダリーマーケットでは、▲0.213～▲0.210%出会いと堅調に推移した。

19日に実施された3M物の入札は、WI取引において▲0.110%での出会いが見られる中、平均落札利回▲0.1071%、按分落札利回▲0.1020%と、順調な結果となった。結果発表後のセカンダリーマーケットにおいては、入札と同水準で推移した。

●CP市場

今週のCP発行市場は、償還総額5,000億円強に対して、発行総額6,000億円弱となり、電機・石油・化学等から大型発行が行われた。例年であれば6月末の償還物が多く発行される時期であるが、今年は新型コロナウイルスに因る先行きの不透明感から発行の早期化・長期化が顕著で、今週も6月末期末越えの発行案件が多く見られた。また、市場残高についても企業の旺盛な資金需要を反映し、24兆円台後半の過去最高水準で推移しました。発行レートは、一部希少銘柄に関してはレート目線を切り下げる動きも見られたものの、先週末のCP等買入オペの結果を受けてか、全般的には若干ながらレート目線を切り上げる動きが見られており、0%前後での決着が中心となった。

●短期金融市場関連指標

	日経平均（円）	新発10年物 国債利回り（%）	為替 （ドル/円中心相場）	無担保コールO/N （加重平均・%）	東京レポレート（翌日物・ T+1スタート・%）	日銀当座預金残高 （億円）
6/15（月）	21,530.95	0.000	107.22	△ 0.018	△ 0.072	4,231,500
6/16（火）	22,582.21	0.015	107.31	△ 0.056	△ 0.053	4,202,200
6/17（水）	22,455.76	0.015	107.34	△ 0.055	△ 0.081	4,183,400
6/18（木）	22,355.46	0.010	106.80	△ 0.055	△ 0.084	4,221,700
6/19（金）	22,478.79	0.010	106.92	△ 0.042	△ 0.062	4,301,500

来週（6月22日から6月26日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
6/22 (月)					5月の米中古住宅販売
6/23 (火)					5月の米新築一戸建て販売件数
6/24 (水)	決定会合における主な意見(6月15・16日分 8:50) 4月の景気動向指数改訂状況(内閣府 14:00) 5月の企業向けサービス価格指数(日銀 8:50)				
6/25 (木)	1-3月期の資金循環統計速報(日銀 8:50)	20Y 9,000億円 6/26発行			1-3月期の米GDP確報値 5月の米耐久財新規受注
6/26 (金)	6月の都区部消費者物価指数(CPI 総務省 8:30)	TB3M 81,400億円 6/29発行			5月の米個人所得・消費支出

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
6/22 (月)	▲ 800	75,700	74,900	CP買入 国債補完	▲ 100 100		0	74,900	国債大量償還・利払い 機関向け貸付 TB3M発行▲81400償還46400 TB1Y発行▲30000償還17000 5Y償還19400 10Y償還40500 20Y償還5200 エネルギー対策借入▲7500期日8000
6/23 (火)	▲ 1,000	2,000	1,000				0	1,000	
6/24 (水)	▲ 1,000	1,000	0	CP買入			0	0	
6/25 (木)	▲ 1,000	0	▲ 1,000	新型コロナ支援	▲ 34,000		▲ 34,000	▲ 35,000	
6/26 (金)	▲ 2,000	▲ 2,000	▲ 4,000	国債売現先(米ドル)	43,300		43,300	39,300	20Y発行▲9000
週 間 合 計	▲ 5,800	76,700	70,900	—	9,300	0	9,300	80,200	

6/22は日銀予想、6/23以降は当社予想

●短期金融市場の見通し

インターバンク市場は、22日の国債の償還・利払いがある。また、24日にオファーされる新型コロナ対応オペは「新たな資金供給手段」と一体的に運営される予定となっている。マクロ加算残高などに影響することもあり、参加者の動向が注目される。レポ市場は、GC T/Nは▲0.105～▲0.045%と横ばい圏で推移する展開を予想する。短国市場は、26日に3M物の入札が実施予定となっている。相次ぐ入札により需給悪化が懸念される中、レート水準を含め、市場動向が注目される。CP市場は、26日の応当日が6月末にあたる。6月末は市場全体で3兆3,000億円強の期落ちがあり、企業の調達動向が注目される。また、25日にはCP等買入オペが6,000億円でおファー予定となっている。今月最後のオペとなり、直近で上昇基調が続いているオペレートの変化が注視される。

主要なイベントとしては、国内では24日の決定会合における主な意見、海外では25日の1-3月期の米GDP確報値等が予定されている。

◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入